

北海道から 青森県へ

氏名 炭屋 正人

北海道釧路東高等学校 → 青森県立八戸西高等学校

(期間:平成26年4月1日~平成28年3月31日)

1 派遣先高校の特色

派遣校には県内に3校しかないスポーツ科学科(各学年1間口)がある。スポーツ科学科は部活動全員加入と大学受験を希望している生徒がほとんどである。創立40周年を迎えたが八戸市内では一番新しい高校である。

2 派遣先の学力向上等の取組

○県下共通テスト

4月に県内のすべての高校の第3学年で実施している。教科は国数英の3教科である。生徒の基礎学力の向上と教員の教科指導力の向上が目的である。作題、採点は各高校の代表者が行っている。(平成30年度から実施しない方向である)

○外部講師によるセミナー

八戸市内の高校が参加する外部講師(予備校の講師)を招いて行うセミナーに参加している。1~3年生を対象に年2回 2日間の日程で行っている。

~~~~~八戸西高校の取り組み~~~~~

### ○土曜教室の実施

土曜教室を年間10回、派遣校の全員が参加し1時間60分の3コマ行う。教科は主に国語、数学、英語、他に化学も行うことがある。土曜教室では時間内で小テストを実施したり、外部模試の過去問の解説を行うこともある。

### ○模擬試験の受験

外部模試の全員受験を行い、学習意識の向上、学力の向上を図っている。

### ○家庭学習調査の実施

家庭学習調査を毎月実施し、進路指導部で各クラスの平均学習時間を出している。クラスによっては家庭学習を定着させるきっかけづくりになる。

### ○異校種間連携の実施

近隣小中学校との勉強会を実施(寺子屋という名前で実施している)し、派遣先の生徒が小中学校に赴き、国数英を教える。参加生徒にとっては大いに刺激になる取り組みである。

## 3 北海道に戻って実践したいこと

### ○授業改善

基礎基本の定着のために必要な指導と生徒自ら学びたいと思う姿勢を持てるような雰囲気作りのきっかけを得た。また、アクティブラーニングのような生徒が主体的に学んだり活動する授業に取り組むきっかけも得ることができた。今後の授業で実践し、取り組んでいきたい。

### ○家庭学習の定着

週末課題の効果的な提示と家庭学習調査等をもとに少しでも家庭学習が定着できるような指導を研究、実践したい。

2年間で担任と分掌の両方を持たせてもらうことができた。派遣先高校では担任は分掌に入らないために分掌を持たせてもらったときには、担任の動きなど全体の動きを知ることができたのは非常にありがたかった。授業、分掌、部活、評価方法、担任業務などを相対的に考えるきっかけを得ることができたのも自分の財産のひとつである。なにより、部活動や教科研究会等を通して多くの先生方と出会えたことで情報交換ができることが大きな収穫となった。これからも自分の現任校の生徒の進路実現のために青森県で得たことを還元していきたい。



八戸西高校管理棟